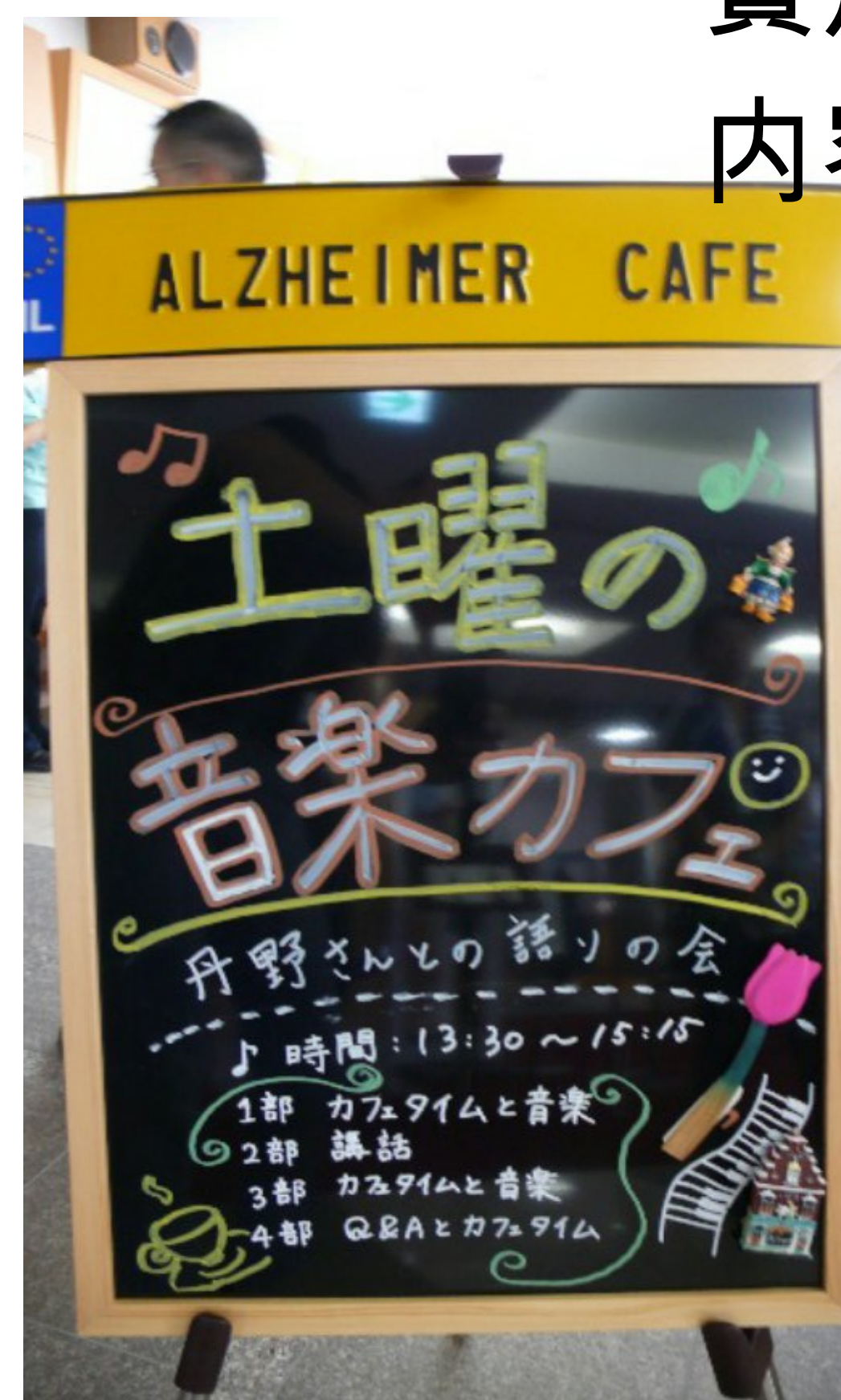




共同体で運営するオランダスタイル 土曜の音楽カフェ♪

仙台市青葉区で開催
 毎月 第1土曜日
 時間 13:30～15:30頃
 会場 東北福祉大学のカフェを利用
 毎回 60人～70人参加
 費用 任意の協力金
 内容

第1部 カフェタイムと音楽
 第2部 ミニ講話
 第3部 カフェタイムと音楽
 第4部 Q&A



情報コーナー



ミニ講話の様子



カフェコーナーは町内会を中心に運営



毎回音楽で場の雰囲気を作る

【特徴】

認知症介護研究・研修仙台センターが監修し、地域包括支援センター、地域支援推進員、町内会、地域の他の法人等が共同運営をする。

認知症の人は毎回7～8名、家族や地域住民、専門職、学生が参加。地域住民は認知症サポーターでもある。

オランダと同じ内容と流れで実施。

このカフェをモデルに周辺の5町内会でも始まる。

お寺で開催される 八幡 和（なごみ）カフェ

仙台市青葉区で開催

毎月第3木曜日

時間 13:30～15:30頃

会場 お寺を利用し開催

毎回30人～40人参加

費用 毎回 任意の協力金

内容 第1部 カフェタイムと音楽

第2部 ミニ講話

第3部 カフェタイムと音楽

第4部 Q&A



お寺で開催される
八幡 和（なごみ）カフェ



ミニ講話の様子



シンセサイザーでカフェタイムを和ませる

【特徴】

地域包括支援センター、地域支援推進員、町内会、看護協会等が共同運営をする。

認知症の人は毎回2～3名、家族や地域住民、専門職が参加。

オランダと同じ内容と流れで実施。

お寺の住職が協力的で場を提供してくれている。



知的障がい者通所施設で開催 こもれびカフェ

仙台市泉区で開催

隔月 第2金日

時間 10:00～11:30頃

会場 工房かやの実

知的障がい者通所授産施設
のパン屋

毎回 20人～40人参加

費用 100円

内容 カフェタイム
歌やミニ講話等





カフェタイム



踊りの披露などもある

【特徴】

地域包括支援センター、地域支援推進員主催。授産施設が協力。
授産施設を利用する知的障がい者の方もカフェコーナーを手伝う。

認知症の人は毎回2～3名、家族や地域住民、専門職が参加。
参加者はパン屋によりながら認知症について学ぶ機会、つながる



地区社協が協力する ひだまりカフェ

岡山県笠岡市で開催
毎月 第1、第3火曜日
時間 10:00～11:30頃
会場 地区公民館
毎回 30人～40人参加
費用 100円
内容 ミニ講話等
カフェタイム





【特徴】

地域包括支援センター、地域支援推進員、地区社会福祉協議会、地域の法人が運営。

認知症の人は毎回2～3名、家族や地域住民、専門職が参加。

地域住民が主体的に運営にかかわり月2回開催。

看板が御影石でできており、公民館にコンクリートで埋め込まれていて、とても強い。継続の意思と公民館の協力が強い。



地区100年の
地区の集会所。
もともと地元
のお医者
さんのご自宅を
活用したもの



古い民家を利用する

思い出カフェ

岩手県奥州市（直営）

毎月 最終金曜日

時間 13:30～15:30頃

会場 地区集会所

毎回 40人～50人参加

費用 300円

内容 ミニ講話等

カフェタイム



カフェタイムの様子



体操を毎回実施している

【特徴】

地域包括支援センター、地域支援推進員、ボランティアを育成し運営に携わる。

認知症の人は毎回2～3名、家族や地域住民、専門職が参加。

ボランティアは市で「認知症支援ささえ隊」を養成し活躍の場となる。